

町会報

えひめ

2017
9
Vol.102

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



久万高原町「“メイドイン久万高原”の生活雑貨（「まちなか交流館」で販売中）」

Contents

四国四県町村長・議長大会	2~4
地方財政計画等に関する研修会	5
お知らせ ハロウィンジャンボ	6
一筆	7
9月の行事	7
編集後記	7
全国町村議会議員団体医療保険のお知らせ	8

- 杣響音 — SOMA-BEAT —**（左上）
町内の造林会社が開発したスマートフォン用スピーカースタンド
- クロモジアロマ**（右上）
森のハーブ「クロモジ」を使って地元の高校生が商品化
- ばち型コインケース**（左下）
町内の革工房がオーダー受注で各種革製品を製作
- 木の器・小物**（右下）
町内の工房がさまざまな種類の木を使って各種木製品を製作

四国四県町村会と同町村議会議長会は、9月26日(火)午後2時から高知県高知市のザ・クラウンパレス新阪急高知で「四国四県町村長・議長大会」を高知県当番により開催した。

これは四県の連携をより強化するための大会で、四国四県57町村から町村長及び議長ら約160人が出席し、盛大に開催された。



四国四県町村長・議長大会を開催

9 / 26 ザ・クラウンパレス新阪急高知

大会は、川村高知県町村議会議長会長の開会のことばののち、池田高知県町村会長のあいさつがあった後、別掲の「宣言」を決定した。次いで来賓の尾崎高知県知事、浜田高知県議会議長、荒木全国町村会長及び櫻井全国町村議会議長会長の各来賓から懇篤な祝辞があった。

次に協議に入り、はじめに、議長に程内本県町村議会議長会長を選出。次いで提出議題の審議に入り、森永本県町村議会議長会副会長が説明した「農林水産業・地域の活力創造について」など4議案の決議及び特別決議「参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議」を採択。また、「四国八十八箇所霊場と遍路道」に関する共同アピールについても採択され、いずれも満場一致で決定し、国の関係省庁や国会議員へ提出することとし、大会の幕を閉じた。

引き続き記念講演に移り、元キリンビール株式会社社長の田村潤氏から「反撃の火ぶたは四国から、そして全国制覇へ」と題して、講演があり、これを聴講した。

なお、大会終了後に出席者全員による意見交換会が盛大に開催され、出席者の交流が図られた。



閉会のことばを述べる清水本県町村会長



大会議長をつとめる程内本県議会議長

宣 言

四国の町村には、美しい山々や渓谷、そこから湧き立つ清流や、その清流に育まれた棚田、多島美の瀬戸内海、黒潮躍る太平洋など美しく豊かな自然と、四国八十八箇所霊場をはじめとする独自の歴史・文化に息づく地域特性があり、そこに生きる人々の自然と共生する暮らしぶりや、遍路文化を支える「お接待」のもてなしの心など、日本のふるさとの原風景が受け継がれている。

しかしながら、多くの町村において、急速に進展する少子・高齢化や大都市圏への人口流出など、様々な問題により地域経済が縮小し、この状況が、人口減少をさらに加速させるという悪循環の連鎖に陥っており、特に中山間地域においては、住民の生活を支える集落の消滅さえ危惧されている。

この困難な状況を打開すべく、国と地方は「地方の再生なくして日本の再生なし」という強い信念のもと、人口、経済などあらゆる課題を克服するため、総力を挙げて取り組んでいかなければならない。

我々、四国57町村長と議長は、“次代を担う若い世代をはじめ、住民誰もが夢や希望を抱き、明るい未来を語ることができる社会の実現”に向け、決意も新たに、持てる限りの英知と努力を傾注することをここに誓うものである。

以上、宣言する。

平成29年 9月26日

四国四県町村長・議長大会

提出議題	説明者
1 地方財政の充実・強化及び地方創生の推進について	高知県大川村長 和田 知士
2 南海トラフ地震対策等、防災・減災対策の充実強化について	徳島県北島町長 古川 保博
3 四国地方の交通基盤等の整備促進について	香川県綾川町議会議長 碓石 眞己
4 農林水産業・地域の活力創造について	愛媛県砥部町議会議長 森永 茂男



提案説明する森永砥部町議長



四県町村会長・議長会長



記念講演

「四国八十八箇所霊場と遍路道」に関する共同アピール

「四国遍路」は、徳島・高知・愛媛・香川の4県をつなぐ空海ゆかりの八十八箇所霊場をループ状に巡る全長1,400kmの壮大な寺院巡礼である。

この巡礼は、古くから一般庶民に定着し、それを地域社会が「お接待」と呼ばれるおもてなしの心で支えている。

遍路の基となる「思想・信仰」、実践する「場」、さらにそれを支える地域の「お接待」の3者が一体となった「遍路文化」は、空海が四国霊場を開創したとされる西暦815年から、1200年余の長きにわたり脈々と受け継がれてきた。

こうした「遍路文化」に象徴される「四国八十八箇所霊場と遍路道」は、日本国内、さらには世界的に見ても、普遍的価値のあるもので、人類全体の遺産として次代に引き継いでいくべきものであり、まさに、世界文化遺産にふさわしいものとする。

平成19年12月に四国4県と関係市町村が共同で再提案した「四国八十八箇所霊場と遍路道」については、世界遺産暫定一覧表への記載は見送られたものの、「生きている伝統」を表す資産としての価値は高く評価されている。

これを受けて、平成22年3月には、四国の産官学民が一体となった「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会が設立され、国から示された課題の解決に向けた取組みを進め、平成28年8月には、文化庁に対して構成資産の保護措置や普遍的価値の証明などを盛り込んだ提案書が再提出されている。

このため、国に対しては、「四国八十八箇所霊場と遍路道」を長大なエリアに及ぶ生きた文化遺産として、この文化遺産が効果的に保存・承継できるよう、世界遺産候補暫定一覧表へ早期に追加記載することを強く求めるものである。

今後、我々は、関係者との連携を強化し、一層の機運の醸成に積極的に取り組むとともに、すべての人を温かく受け入れてきた「四国遍路」の素晴らしさを幅広く周知するなど、世界遺産登録に向け、四国が一体となって取り組むことを強くアピールする。

平成29年9月26日

四国四県町村長・議長大会

決 議

- 1 地方財政の充実・強化を図り、地方創生を推進すること
- 1 南海トラフ地震対策等、防災・減災対策の充実強化を図ること
- 1 四国地方の交通基盤等を整備促進すること
- 1 農林水産業の振興対策及び地域の活力創造を積極的に推進すること

以上決議する。

平成29年9月26日

四国四県町村長・議長大会



参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議

第24回参議院議員通常選挙は、憲政史上初めて合区で行われたが、地方の自立・活性化を図るために必要な、地方の意見を国政に反映させる機会と権利を失わせる結果となった。

とくに、投票率が全国的に横ばいの中、合区とされた「徳島県及び高知県」選挙区では両県とも全国で最も低いレベルの投票率となり、人口減少などから危機に瀕した地方の民意を国政に反映させるうえで、深刻な課題を残したと言わざるを得ない。

今回の選挙において、両県民の投票意欲を喪失させた主因は、「一票の格差」の是正のみを目指し、選挙区として都道府県単位で果たしてきた役割を無視した小手先の弥縫策として実施された「合区」の導入にあり、今後、「合区」の継続と拡大は、都市住民の意向が尊重される一方、地方住民の参政意欲を失わせることにつながりかねず、ひいては我が国の民主主義の根幹を揺るがす事態に陥るものである。

今一度、国会においては、我が国の民主主義における選挙区としての都道府県が果たしてきた役割を尊重した参議院選挙制度改革の議論を興し、参議院の選挙制度を地方の意見も国政に反映される仕組みとすべきである。

ついで、広範な国民世論を背景として、合区による選挙制度を見直し、法律のみならず憲法の改正も視野に入れて、都道府県単位による代表が国政に参加する仕組みを構築されるよう強く要望する。

以上決議する。

平成29年9月26日

四国四県町村長・議長大会

地方財政計画等に関する研修会を開催

9/14 (公財)愛媛県市町振興協会

公益財団法人愛媛県市町振興協会（理事長・清水雅文愛南町長）は、9月14日、松山市の林業会館で「平成29年度地方財政計画等に関する研修会」を開催した。



研修会の目的は、「地方は一億総活躍社会の実現や地方創生に取組みつつ、安定的に財政運営を行うことが求められている状況の中で、現在の地方創生、自治体財政を取り巻く諸課題など、最新の動きについて理解を深めるとともに、今後の地方行政の進展を期する」を目的に開催したもの。

講師は総務省自治財政局交付税課理事官の進龍太郎氏で、「地方創生に向けて～国の動き（地方財政計画等）～」と題して、平成30年度の地方財政や市町財政の現状と課題についてわかりやすく解説。支庁の財政担当者にとって有益なお話をいただいた。

なお、各市町から61名が出席した。

「平成29年度地方財政計画等に関する研修会」開催要領

主催 愛媛県市町振興協会

- 1 目 的 今日厳しい財政状況の中、地方は一億総活躍社会の実現や地方創生に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことが求められている。
こうした状況の中で、現在の地方創生、自治体財政を取り巻く諸課題など、最新の動きについて理解を深めるとともに、今後の地方行政の進展を期するため、本研修会を開催する。
- 2 日 時 平成29年9月14日(木) 14時30分～
- 3 場 所 林業会館 3階 大ホール
- 4 対 象 者 各市町の地方財政（地方創生）担当部課長および担当者等（4名以内）
- 5 研修テーマ 「地方創生に向けて ～国の動き（地方財政計画等）～」
- 6 講 師 総務省 自治財政局 交付税課
理事官 進 龍太郎 氏（元 愛媛県総務部 総務管理局 市町振興課長）
- 7 日 程 13：30～ 受 付
14：30～14：35 開 会 主催者あいさつ
14：35～16：50 研 修
16：50～17：00 質 疑 応 答
17：00 閉 会

2つのジャンボ同時発売

5 ハロウィンジャンボ **5億円**

5 ハロウィンジャンボミニ **5千万円**

笑いが止まらない2つのジャンボ!

2017年新市町村振興宝くじ **10月11日(水) 発売**

発売期間:10月11日(水)~10月31日(火)

抽せん日:11月9日(木)

- 1等前後賞合わせて5億円(1等3億円/前後賞各1億円)
- 1等前後賞合わせて5千万円(1等3千万円/前後賞各1千万円)

売り切れしだい発売終了!
各1枚300円



この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

(公財)愛媛県市町村振興協会



方策は早めに

この9月と云うより近ごろの天候は、「自然」の為せる業と承知しているが、実に節操がない。この自然環境の変化から逃げられない人間も今や、気温の上・下を愉しむかのような不規則な流れに、何となく馴らされてきた気配がする。ただ天変地異には馴らされたふりでは通用しない…。

カラカラに乾いた土表面に激しく弾く夕立、そぼ降る雨、しつとりとした雨は、演歌の歌詞か過去の情緒現象となった。今や短時間の集中・ゲリラ豪雨は、雨量計を壊すような「観測史上」の言葉を常に前提としている。

世界各地で発生する異変。暑さ、寒さ、風、降雨の加減は大気変動によるところらしい。皮肉にもその原因たるや、人間の生活向上に付随してもたらされてきたとも言われる。数多くなつた雷鳴も、自然界からの「急ぐな！立ち止まって方策を取れ！」人間への警告音なのかも知れない。

それにしても、こここのところ毎日、原爆・水爆など物騒な話が飛び交い、ミサイルが現実列島上空を飛び、一方では、子供の喧嘩のごとき文言が熾烈な弁として飛び交っているようだ。

天上の雷様は、下界の雲行きに『何とも嘆かわしい事である。天変地異

は自然界の特許である。人間界では、悲惨な後の祭りを起こしてはならない。方策を考えよ。』と嘆き節とともに大人の道を外さないように意見したいと思っているかも知れない…。

この世に核兵器に心酔するリーダー、大人がいるならば、まず「一寸、立ち止まり」。是非とも広島市と長崎市を訪れ、72年前のこの世で遇ってはならない地獄の実態を「資料館」で、しっかりと自分の目で見てほしい。

さてさて、『この世は、特に住み難い。』社会になってきたものである。『自分以外の人の痛みが解かる人』が激減した現下の社会環境は、天変地異よりも厳しい社会変化と言わねばならない。兎に角「大人たる大人」が世界的に少なくなったような気がしてならない。中途半端な勉学に終始し、理性は「無し」、「浮かびもしない」自己主義の塊の人々の衆になりつつあるのかも…。

今、我が国民の3,514万人が65歳以上で占め、90歳以上が200万人超を占める。さらに1千兆を越す借金を抱えての超高齢社会である。かつてのような生産性は上がらない。70代の諸氏が『自分は、高齢者と思っていない。』この言葉を移民対応などでなく具体的に『利活用』すべきでは…、「敬老の日」の一言。

要は、万事、後の祭りにならないよう、方策は早めに！。

「戦争は、獣のためにこそあれ、人間のためにはない」
(エラスムス オランダの人文学者)

9月の会と催し

- ▽1日(公社)愛媛県浄化槽協会第36回理事会
- ▽6日(全国簡易水道協議会)平成29年度第2回理事会並びに第1回事務局長会議、全国町村会災害共済事務連絡会議
- ▽7日(全国町村会)政務調査会財政委員会、全国町村会理事会・都道府県町村会会長、国と町村との道路政策に関する意見交換会
- ▽8日(第60回愛媛県公立学校施設整備期成会)定例評議員会、第1回宝くじの活性化に係る意見交換会
- ▽11日(愛媛県防災会議、岩手県内被災自治体視察事業(12日まで))
- ▽14日(平成29年度地方財政計画等に関する研修会、災害共済関係事業等加入推進及び火災予防運動等関係事務打合せ(15日まで))
- ▽21日(都道府県退職手当組合職員研修会(22日まで))
- ▽26日(平成29年度四国四県町村長・議長大会運営協議会・同大会・記念講演)
- ▽27日(平成29年度第1回愛媛DM推進委員会)
- ▽29日(平成29年度町村議会広報研修会、愛媛県自転車新文化推進協会企画提案型プロポーザル(審査会)、天皇皇后両陛下奉迎大提灯パレード)
- ▽30日(愛顔つなぐえひめ国体総合開会式、第72回国民体育大会役員懇談会)

編集後記

この編集後記には、毎号、頭を悩ませています。ときには新聞や人のコラムなどからヒントを得たりするんですが、つくるって難しいですね。そんな中ですが、これでも、ちょっとした「こだわり」があつて、嫌いな言葉や言い回しは使わないようにしています。それは例えば、「かかわりませず」です。

一般には「ご多忙中にもかかわらずませず」といったように用いられることが多いと思いますが、これは使いたしません。この場合は「かかわらず」という按配です。

また、五・七調を気にしています。テンポというカリズムが良いように感じるので。

そんなこんなで、毎回、筆に難渋しています。まあ自業自得なんですけどね。

もう一つの「こだわり」は、お酒の話をチラッと盛り込むこと。そのためにはデータを収集しなければいけません。もとより取材意欲は旺盛なので取材費が嵩みますが、これも僕の使命と歯を食いしばって困窮に耐えているところです、嗚呼。

運動会の季節がやってきました。先日、幼稚園のそれを見学していたときのこと。もっとも心を動かされたのは子供たちの徒競走でした。子どもたちの懸命に走る姿は可憐で胸が熱くなったんです。同時に、潤いをなくしつづつある我が身に刺激を与えてくれました。よし、もうちょっと頑張ってみるか。

全国町村 議会議員 団体医療保険

新・団体医療保険 (医療保険基本特約・疾病保険特約セット団体総合保険)

【保険期間】 平成30年 1月 1日午後4時から 1年間

「病気」を補償し、ご安心をお届けする制度です。



安心の団体医療保険 5つの特長

1 「病気」を補償します!

- 病気による入院・手術を補償します。三大疾病 (がん・急性心筋こうそく・脳卒中) となった場合の補償もセットできます。
- 病気による入院は、日帰り入院から補償します (注1)。
- また、1回の入院につき120日限度、通算1,000日まで補償します。

4 お手続きは簡単です!

- ご加入の際、医師の診査は不要です。簡単な告知で加入できます (注2)。
- 保険期間は1年間です。以降1年ごとに自動継続となりますので、お手間が掛かりません (注3)。

2 団体割引30%の、割安な保険料です!

ご加入年齢 満60歳~満64歳の場合 (A型にご加入いただいた場合)

疾病入院保険金 1日につき	5,000円	※支払額の1/4倍 入院保険金日額の40倍	23,070円
		※支払額の1/5倍 入院中の手術:入院保険金日額の20倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍	(保険期間1年、年払、 団体割引30%適用)

**5 無料の健康・介護相談サービス
(損保ジャパン日本興亜・アシスタント
ダイヤル) をご利用いただけます!**

3 議員・退職議員の皆さまのための制度です!

- 議会議員を退職後も、継続して加入できます。
- 議員の皆さまの配偶者も加入できます。
- 満79歳 (保険始期日時時点の満年齢) まで加入できます。

(注1) 日帰り入院とは、日帰り手術のため1日だけ入院と同一ような形で病室を使用した場合等のことをいい、「入院料」の支払いの有無で判断します。

(注2) 加入申込書および被保険者健康告知書の内容により、ご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。

(注3) 本制度は保険期間の中途でのご加入はできません。

※このポスターは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。

【保険契約者】
全国町村議会議員互助会

【取扱代理店】
株式会社 まちむら
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館3階
TEL 03-3264-6830 FAX 03-3264-8308
(受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)

【引受保険会社】
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
団体・公務開発部 第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-5408 FAX 03-6388-0162
(受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)